



# 東藤島こうみんがんだより

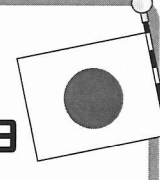
●人口 3,520人(男1,722 女1,798) ●世帯数 1,330戸(令和6年9月1日)  
令和6年10月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

## 公民館休館日

10月14日(月)・15日(火)・21日(月)  
28日(月)  
11月3日(日)・4日(月)

祝日には忘れずに  
国旗を掲げよう!

10月14日(月)スポーツの日  
11月3日(日)文化の日



## 今年は何かが違う!《東藤島地区文化祭》

来る10月27日(日)に東藤島地区文化祭を東藤島小学校で開催致します。地区の各種団体や個人が一年間活躍した足跡や研鑽した作品をステージや展示物で発表する場の他に、今年は様々なことをリニューアルし、一日中楽しめるイベントを計画しています。

### 体育館に 飲食コーナー

育友会による喫茶コーナーやあべかわ餅などの当日販売、あじさいクラブによる食堂等体育館に飲食コーナーを設置します。

### 「ワークショップ」 「フリーマーケット」の設置

趣味の作品やリサイクル品を販売する「フリーマーケット」やクラフトづくり、カイロプラクティックなどを体験する「ワークショップ」を設置します。たぐいま参加者募集中!

### キッチンカーが やってくる!

今年はキッチンカーが2台やってきます。お楽しみに!

当日は午前9時より開会式。式典後、公民館の講座やこども園・保育園で学んだ歌や踊りをステージで発表します。午後2時からは福井プラスアカデミーによるミニコンサートを予定しています。詳しくは各家庭に配付しますチラシをご覧ください。

## 敬老会開催

～笑顔いっぱい、元気いっぱい、皆さん素敵でした～



令和6年度の東藤島地区敬老会が9月29日(日)、午前10時より東藤島小学校体育館を会場に開催されました。

式典後は、藤島高校ジャグリング部の軽快な演技と、天龍太鼓の力強い演舞を鑑賞し、元気をいただきました。

今年は約180名の皆さんにお集まりいただき、体育館の中では笑顔と弾んだ声にあふれる素晴らしい会となりました。

地区の宝である高齢者の皆さんには、今後ますますお元気で、心やかな日々をお過ごしいただきますようお願い申し上げます。

本年度、百寿(100歳)を迎えられた大正13年生まれの方は4名、米寿(88歳)を迎えられた昭和11年生まれの方は25名です。誠にめでたうございます。

### 100歳 (敬称略)

大和田	中 田	みどり	女
北野上	伴	ふたを	女
間 山	天 谷	初 市	男
上 中	野 村	シズ子	女

29名の皆さんには、地区の社会福祉協議会より記念品が贈られました。また、今年も若栄町の濱内静さんから記念としてお一人おひとりに心のこもった水墨画の色紙が贈られました。ご厚意に感謝いたします。

### 88歳(米寿) (敬称略)

林	坂 井	二三夫	男
泉 田	吉 野	肇	男
泉 田	五十嵐	さち子	女
泉 田	園	信治郎	男
堂 島	岡 崎	俊 次	男
大和田	酒 井	徹	男
北野下	野 路	清 行	男
北野下	木 村	康 男	男
北野上	渡 辺	てい子	女

中ノ郷	藤 田	睦 男	男
中ノ郷	藤 田	洋 子	女
橋 合	吉 岡	すす子	女
橋 合	牧 野	裕 一	男
島 橋	石 田	敏 子	女
島 橋	橋 本	泰 斗	男
玄正島	上 野	加津子	女
玄正島	堂 前	清 江	女
間 山	天 谷	て志子	女

間 山	内 藤	恵美子	女
重 立	大久保	教 子	女
原 目	高 原	光 世	男
上 中	安 野	とみこ	女
若 栄	木 下	君 子	女
若 栄	羽 生	赴 夫	男
若 栄	野 口	トシ子	女

## 「天心忌」が 開催されました

岡倉天心の命日である9月2日(月)に岡倉家の菩提寺である西超勝寺で「天心忌」が行われました。岡倉天心は、父親が福井藩士であったことで終生福井をこよなく愛した人であり、また、近代日本の美術界に大きな足跡を残した人でもあります。法要のあと、水野連合会長の『讚える言葉』、小学6年生児童の『誓いの言葉』が続き岡倉天心への思いを新たにしました。天心の遺徳を学んだ小学生が、天心の功績を次世代へ伝えていってくれることと思います。



## たぐいま 参加者募集中です!

★FRMコンサート  
ソプラノリコーダーの美しい音色に癒されてください。  
○10月16日(水) 13:30~15:00  
○東藤島公民館ホール  
※入場は無料。鑑賞希望者は公民館までご連絡ください。

★新春に飾る松竹梅を作ろう  
○11月22日(金) 13:30~

★ミニ門松の寄せ植えを作ろう  
○12月20日(金) 13:30~  
※材料代など詳細は後日配付のチラシをご覧ください。参加希望者は公民館までご連絡ください。

広い心 やさしい心 育てよう 東藤島小児童作品

重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



# 学級通信 伝承料理普及講座

9月19日に食生活改善推進員の方を講師に福井県の郷土料理である「あげご飯」「昆布巻き」「辛子麩」「すこ」「呉汁」を教わりました。

伝承料理は、下準備等や煮込みに時間がかかるため、昆布巻きは事前に講師が煮込み、当日は昆布の戻し方や巻き方のコツを座学で教わりました。

「すこ」は、皮むきやあくだしの大変さを、そして辛子麩は、麩の絞り加減の難しさを知ることができました。「呉汁」は、時間の関係で今回は大豆の粉を使って挑戦。粉の混ぜ方や沸騰させた味噌汁に

入れるタイミングと、ふわっとさせるためのコツなど教わりました。

参加者から「今まで自己流で作っていましたが、楽しく学ばせてもらいました」「家庭で作りたいのでできないメニューばかりで、是非時間を見つけて作りたいと思いました。家庭の味が出せる料理なので我が家の味になれば幸せです」などの感想をいただきました。

是非、次世代に繋げていただきたいと思います。



# 心身ともに健康で生き生きと過ごすための健康講座

9月21日の講座では、福井県立病院 摂食嚥下障害認定看護師の高澤法子氏を講師にお迎えし、「50才過ぎたら誤嚥に注意して！～嚥下障害にならず健康寿命を伸ばして元気な高齢者であるためには？～」と題した学習会を開催しました。

まず、DVDで「誤嚥」と「嚥下」とはどのような状態なのか理解を深めました。

講義では、嚥下のメカニズムまで教えていただき、嚥下評価のために反復唾液嚥下テストを行ったり、「ぱたから体操」をしたり参加型の学びをし、その他、食事の姿勢や口腔ケアなど多くのことを学びました。また、お茶にとろみ粉を混ぜてちょうどいいとろみ具合の介護食作りを体験しました。

自身が介助（介護）する側でも、される側でも、

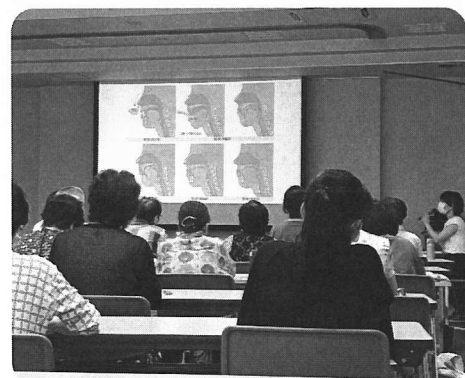
学習した知識を持っていれば、食事は楽しい時間になると感じた時間となりました。

参加者からは「よく噛む、飲み込む、発声パターカラ、歯のケアなど基本的な生活習慣を毎日続けたい」「これからの介護に使えるようでよかった。また、自分も気を付け口の運動をしていきたい。口から食べるのが一番」「病気になった時でも口から栄養がとれるようにしたい」などの感想をいただきました。

「1さじのスプーンが命をつなぐ」

「1さじのスプーンが希望をつなぐ」

回復する力を蓄え、何があっても諦めず、健康寿命を伸ばし元気な高齢者であるために意識を高めた時間となりました。



福井市東消防署

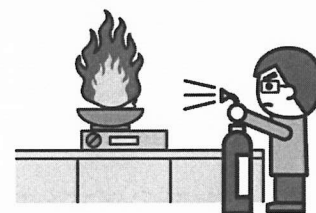
## 東分署からのお知らせ

### 消火器の廃棄について

消火器は初期消火に有効なものですが、錆や変形のあるものは、いざという時に使えないだけでなく、腐食の程度が著しい場合は破裂する危険があります。

早急に新しい消火器に交換していただき、不要になった消火器を廃棄する場合は、次のことに注意してください。

- ・消火器は一般のごみの回収には出せません。
- ・消火器を購入したお店又は消火器の専門業者に相談してください。



(お問い合わせ)

福井市東消防署 東分署 ☎57-0119

災害場所の問い合わせ ☎25-9999

火災・救急は「119」番

救急車は、緊急性の高い怪我や病気などに利用してください。

## 運転者講習会のご案内

日時/10月11日(金) 19:00~20:00

場所/東藤島公民館

対象/運転免許証取得者全員

内容/交通安全DVD上映

・道路交通法一部改正のポイント 等

車を運転される方は、運転者講習会に出席して、交通安全意識の向上に努め、交通事故を起こさないようにしましょう。

福井交通安全協会東藤島分会

移動図書館



「あじさい号」巡回日

11月6日(水) 11:00~11:20



## 子どもたちに残したい 美しい日本の歌



旅愁

犬童 球溪 作詞

ジョン・ポンド・オードウェイ 作曲

- 1 更け行く秋の夜 旅の空の  
わびしき想いに ひとりなやむ  
恋しやふるさと なつかし父母  
夢にもたどるは 故郷の家路  
更け行く秋の夜 旅の空の  
わびしき想いに ひとりなやむ
- 2 窓うつ嵐に 夢も破れ  
はるけき彼方に 心迷う  
恋しやふるさと なつかし父母  
思いに浮かぶは 杜の小すえ  
窓うつ嵐に 夢も破れ  
はるけき彼方に 心迷う

熊本県人吉出身の犬童球溪(明治12~昭和18)が東京音楽学校を卒業後、最初に奉職した旧制中学校で、西洋音楽は軟弱だ、と生徒から排斥されます。明治39年1月、逃げるように新潟県立新潟高等女学校(現・中央高校)に移って、ようやく心の安定を得ますが、望郷の念を断ちがたく『旅愁』を訳出した、といわれています。このとき、日本人に歌いやすいように、曲の方にも少し手を入れました。『中等教育唱歌集』(明治40・共益商社)に掲載されると、たちまち全国に広まりました。楽譜によって歌詞が違いますが、一番の「夢路にたどるは、故郷の家路」は「夢にもたどるは…」、二番の「はるけき彼方に、心運ぶ」は「…心迷う」と歌うのが正しいようです。

原曲はアメリカの音楽家ジョン・ポンド・オードウェイ(1824~1880)が作詞・作曲した『夢にも見る故郷の家、わが母』です。よくこなれた訳詞ですが、原作に憂愁の想いはありません。中国語では惜別の歌『送別』として歌われています。訳詞者が清朝末期に日本へ留学したおり、『旅愁』に感銘を受けて訳したようです。

参考資料：心に響く童謡・唱歌 東洋館出版社